

A | オンデマンド乗合交通「とりモビ」の取組状況について

令和7年7月1日から実証運行を再開している、AI オンデマンド（予約型）乗合交通「とりモビ」についての取組状況を報告します。

なお、実証運行としては令和7年度をもって終了予定。令和8年度以降の運行については、交通事業者や行政等で構成する「とっとり共創型交通協議会」において、本年度の検証結果をふまえて検討します。

事業の取組状況

(1) 延べ利用人数

7,598人（令和7年7月1日～11月30日）

(2) 1日あたり利用者数

令和5年度	令和6年度	※令和5年度有償期間のみ				
25.6人※	37.0人	令和7年7月	8月	9月	10月	11月
45.0人	57.1人	48.9人	50.1人	47.1人		

(3) 会員登録数 1,790人

（令和6年度実証時から約345人増）

(4) 共創事業の取組

地域経済の活性化につなげるため、多様な事業者と外出意欲を高める以下の取組を実施

- ・百貨店、飲食店舗、娯楽施設、スポーツジム、温泉施設等の9件との協賛継続。
- ・新たに福祉連携として2件買い物支援等の連携事業の実施。
- ・協賛店舗の公募、有料広告の募集、アプリにおける情報掲載やプッシュ型の配信。
- ・教育×交通として塾への法人利用契約のご案内。（確認中）

(5) 広報活動

- ・ガイドブック・ポスティングチラシの配布
- ・店舗にリーフレット設置やポスター掲載
- ・SNS発信（静止画・動画）
- ・市報、ホームページ、ラジオでの周知
- ・交通イベント等での事業広報



交通イベントでの車両展示

(6) その他

- ・拡大した運行地域の住民と利用促進に向けた意見交換会（7/2、3開催）
- ・運行エリアや運行時間の検証、既存の交通機関との関係性の分析を進める。
【住民や利用者アンケートの実施、既存公共交通事業者（バス・タクシー）や
とりモビ利用者へのヒアリング調査、路線バス利用者への乗降調査等の実施】